

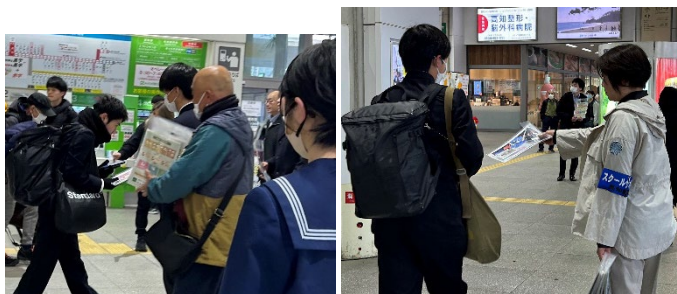
安心・安全なネット利用を呼びかける街頭啓発活動を実施 《令和7年「春のあんしんネット・新学期一斉行動」の取組～JR高知駅～》

- ◆ 四国総合通信局は、令和7年3月13日(木)、高知県警察本部少年課との共催により、「高知県青少年安心・安全ネット利用促進連絡会(※)」の構成員、少年警察ボランティア、高知県立岡豊高等学校及び高知県立春野高等学校の高校生とともに、JR高知駅(高知県高知市栄田町2-1-10)において、早朝の街頭啓発活動(チラシ等の配付等)を実施しました。
- ◆ 本取組は、青少年がインターネットの利用に起因する犯罪やトラブルに巻き込まれることを防止し、インターネットを安心・安全に利用できるよう、春の卒業・新入学・進級の時期(毎年2月から5月)に、フィルタリングの利用推進や青少年・保護者等のインターネットのリテラシーの向上に向けた取組を集中的に行う「春のあんしんネット・新学期一斉行動」の一環として実施しました。
- ◆ 当日は、青少年や保護者等を対象に、安心・安全なネット利用に関する啓発用リーフレット約400部を配布するとともに、自作のパネルやのぼり、高知県警察のマスコット「ポリン・ポーリー」の着ぐるみを活用しながら、青少年の安心・安全なネット利用のための協力推進の呼びかけを行いました。多くの方がリーフレットを受け取り、説明に耳を傾けてくださいました。
- ◆ 四国総合通信局では、今後も街頭宣伝や出前講座など、地域団体と協働した取組を通して、安心・安全なネット利用のための周知啓発を進めてまいります。

※高知県の地方自治体、警察、教育関係者、PTA、電気通信事業者等で構成し、青少年が安心・安全にインターネット利用できる環境を整備することを目的として活動を行う団体。当日は、構成員のうち、株式会社NTTドコモ、株式会社ドコモCS四国、ソフトバンク株式会社の職員、全国携帯電話販売店協会の構成員が参加。



街頭宣伝参加者



警察官や事業者もリーフレットを配布



配布したリーフレット等

つくろう!守ろう!安心できる情報社会



総務省では、インターネットやSNSにおける利用者のICTリテラシー向上を目的として、プラットフォーム事業者、通信事業者、IT関連企業、関連団体との連携の下、官民連携プロジェクトとして「DIGITAL POSITIVE ACTION」を実施しています。本街頭啓発活動は、このプロジェクトも踏まえつつ実施しました。WebサイトURL：<https://www.soumu.go.jp/dpa/>



(お問い合わせ先)
情報通信部 電気通信事業課 089-936-5042